

三重県東日本大震災支援本部 第22回本部員会議 概要

- 1 開催日時：平成27年12月24日（木）14:20～14:50
- 2 開催場所：県庁3階プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●説明、☆意見）

1 各部署の取組について

(1) 平成27年度の取組

- 防災対策総務課長 資料1により説明

2 現地派遣職員による活動報告について

(1) 「復興基盤総合整備事業に携わって」

- 戦略企画部統計課 藤田主事 資料2により説明

(2) 「東日本大震災被災地派遣 活動報告」

- 総務部人事課 伊藤主事 資料3により説明

☆農林水産部長

藤田主事には、農業版BCPの策定で現地の生の声を聞かせてもらっており、非常に参考になる。

☆地域連携部長

地籍調査と移住交流の内容については、参考にしたい。

☆観光局長

福島県は原発の被害がある状況下で、観光交流局の職員として、気を付けていることは何かあるか。

●伊藤主事

子育て世代に嫌われてしまっている。絶えず正しい情報を継続的に発信するしかないと思っている。

☆渡邊危機管理統括監

観光において、部局間の連携はどうか。

●伊藤主事

観光に関しては、どこか1つの部署で握るということではなく、農林水産部と連携しながら農林水産物を食べていただくツアーを企画したりしており、部

局間連携は必要になっていると考えている。

☆石垣副知事

現場でなければ気が付かない経験を、仕事の中で生かしてほしい。

☆植田副知事

課題の先進県の中で頑張ってもらっているのだから、力の一助となれるよう頑張ってもらいたい。

☆知事

復興担当部局の設置について、岩手県庁ではやっているのか。また、三重県復興指針（仮称）を年度末までに策定するので、防災対策部に意見を言って欲しい。

●藤田主事

岩手県にも各市町にも復興部局があった。県庁とは接点がなかったのだから分からないが、市町では復興業務と合わせて通常業務がある。農林、建設、まちづくり部局で、通常業務に加えて復興業務を担当していて、復興部局があまり調整機能を果たしていなかった印象がある。設置することよりも、機能する組織をつくらないといけない。市・県・国営事業を一括して行えるのであれば、事業間の調整が減ると思う。

☆知事

ふくしまファンクラブはネットワーク化されているか。

●伊藤主事

ネットワーク化はしておらず、会員同士での交流の場が課題になっている。首都圏の大学生を使ったPR動画の制作というのがあるが、ファンクラブ会員向けの試写会を今後開催する。そのように会員限定のイベントを開催していく。

☆知事

ノウハウを三重テラスにも伝授してほしい。

☆知事

- ・ 来年は震災発生から5周年を迎える。しかしながら、被災地の復興はまだ道半ばであり、宮城県知事との懇談会でも支援の継続を合意しているので、長く寄り添ってほしい。一方的な支援ではなく、ともに成長し合うような交流でなければ長くは続けられないので、是非お願いしたい。
- ・ 県内には、約440名の避難者の方がいらっしゃるのだから、情報が確実に届くようにしていくこと。
- ・ 6名の職員が被災地に派遣されているのだから、各部局でフォローをお願いしたい。